

企業連携出前授業 第10回

- ◆日時 令和2年7月22日（水）13：30～15：00 1コマ
- ◆企業 (株)バードワークス
- ◆講師 田栗 智幸 様・谷口 智一 様
- ◆学校 鳥取市立富桑小学校
- ◆対象 5年生 1クラス 21名
- ◆内容 ロボットを使ったプログラミング



(株)バードワークス
谷口さん 田栗社長

小学生でも簡単にプログラミングができる「スクラッチ」というソフトを使って、実際にパソコンでレゴのEV3（モーター付車）を動かしてみました。まずは、講師から前進させる方法を聞き、グループ毎にチャレンジしました。どのグループもあっという間にクリアしていました。次にバック、回転などの他、前進、回転、繰り返し運動を組み合わせ、四角に動いてみようというチャレンジ問題にも挑戦しましたが、なかなか思ったように動いてくれません。そこでグループのメンバーで協力し何度も話し合いながらプログラムを確認していきました。チャレンジが成功した時にはみんなで拍手をして喜びました。プログラミングは、なんとなくそれらしい動きをしたから良いのではなく、自分が想像した動きをきちんと正確にプログラミングすることが大切であることを学びました。最後に発明協会から紙芝居を使って「発明楽」(注1)の説明をし、発明することの楽しさを知ってもらいたいとお話させていただきました。



★児童アンケートより★

- ・家や学校でできないスクラッチでロボットを動かしたりするのが楽しかったです。
- ・ぼくはロボットを1回動かしたことはあったけど、これとはちがって簡単だったけど、今回は難しかったです。
- ・ロボットを動かすのは初めてだったので、楽しかったです。また、プログラミングしたいです。
- ・楽しかったけど、少し最後の課題が難しかったです。またやってみたいです。
- ・機械と人の考え方が違うことが分かりました。ロボット本体もかっこよかったです。
- ・ぼくは将来発明家になっていいことをしたいです。

(注1：「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル +、-、×、÷)